

デジタル・ファブリケーション工房利用ルール

明治大学理工学部

デジタル・ファブリケーション工房（デジタル工房）は、理工学部・理工学研究科の学生をはじめ、本学の学生・教職員を対象に、手軽にものづくりを経験する場を創出するため、2025年度に開設しました。

デジタル工房では、3Dプリンタやレーザーカッター等が利用できます。本工房を利用するにあたっての利用ルールを以下に示します。

以下の条件を熟読し、同意した上で利用登録を行ってください。なお、違反者は登録を取り消す場合があります。また、違反者が多く運営に支障が出た場合、工房の利用停止または運用の見直しを行うことがあります。

詳しい情報は、Oh-o!Meijiのグループ「[理工学部デジタル・ファブリケーション工房](#)」をご覧ください。

利用方法について：

- 開室時間は、**授業開講期間の月～金曜日の13:00～17:00**です。夏季・春季休業期間の開室は不定期となり、別途 Oh-o!Meiji 等でお知らせします。
- **工房を利用するにあたり、年度初回利用時に利用登録が必要です。**登録情報はデジタル工房の運営に活用されることがあります。なお、連絡先等は本工房に関する連絡以外には使用しません。
- 各機器を**使用するたびに、使用届の提出が必要**です。使用届の形式は機器ごとに異なりますので、機器の横にある張り紙の QR コード、もしくは Oh-o!Meiji グループ内のリンクから提出してください。
- 使用者は、教職員またはデジタル工房の TA から利用登録証（確認メール）および学生証の提示を求められた際、これに応じる義務があります。
- 機器を使用する前に、**必ず**各機器の使用方法に関する資料を閲覧・視聴してください。

機器使用にあたっての準備・心構えについて：

- 各機器の使い方については、自分で学んで使用することを原則とします。
- 使用に必要なデータの準備は、自身で行ってください。
- 機器を直接操作するソフトウェアの使用法に不明点がある場合は、TA に相談してください。
- 制作物に関するデータは、原則として本人が用意し、自作したモデルを使用してください。
- 機器使用の際に不具合が発生した場合は、**放置せず、必ず TA に報告**してください。
- 教育・研究・学校運営以外の目的や、商用・著作権に問題のあるものでの使用は禁止です。
- 作業遅延による開室時間の延長等は認めませんので、十分余裕をもって作業をしてください。
- 工房は理工学部・理工学研究科の授業科目でも利用される場合があるため、授業科目での利用が優先される場合があります。
- デジタル工房では、他者の迷惑にならないよう行動し、デジタル工房の利用を目的としない滞在はできません。
- 各機器の使用後は、**必ず**使用機器およびその周辺を清掃してください。
- 授業の一環として使用する場合、使用者が集中することが予想されます。その際は、授業担当教員の指示に従い、適切な使用を心がけてください。

各機器に関して：

1) 3Dプリンタについて

- 3Dプリンタの使用には、印刷部に関する STL ファイルが必要となります。これを USB などの記録媒体に保存して持参してください。
- 3Dプリンタの材料は無料で提供します。色などを変更したい場合は、TA に相談してください。
- 必要以上に大きな（数百グラムを超える）造形物の制作は控えてください。特定の個人が頻繁に重量物を制作し、プリンタを占有する状況が続く場合は、使用を制限することがあります。また、100g を超えるものを印刷する場合は、必ず TA または教員に相談してください。
- 印刷物の予測時間が表示されますので、終了時刻を確認し、印刷終了後は速やかに回収してください。回収は開室時間内のみ可能です。
- 印刷物を回収しない場合、他の使用者が取り外すことがあります。その際の破損等については責任を負いません。
- 印刷に不具合が発生した場合、印刷を停止することがあります。この場合、再印刷の対応は行いません。
- 一人が同時に使用できる 3D プリンタは、原則 1 台のみとします。

2) レーザー加工機について

- レーザー加工機の使用には、以下の形式の画像ファイル（SVG、JPG、JPEG、GIF、PNG、BMP、DXF、WEBP）が必要となります。SVG 形式のファイルが便利です（Illustrator など容易に作成できます）。
- 加工内容（彫刻・切断・スコア）ごとにレイヤーを分けて準備してください。
- 素材の種類を把握したうえで材料をご用意ください。ものによっては加工できない場合があります。加工可能か不明な場合は、材料の名称を把握したうえで TA または教員に相談してください。

3) 真空成型機について

- 真空成型を行う場合には、樹脂の板材（Myyard の純正品を推奨します）と型が必要となります。これらはご自身でご用意ください。
- ものによっては加工できない場合があります。加工可能か不明な場合は、材料の名称を把握したうえで TA または教員に相談してください。

その他：

- 一部の材料を除き、工房の利用は原則として無料です。そのため、急な機器の故障等があった場合に十分な対応ができない場合があります。
- TA が体調不良等で不在の場合、サポートを受けられないことがあります。（受付の職員は、原則として技術的なサポート対応はできません。）
- 本サービスは明治大学の全教職員を対象とします。ただし、理工学部・理工学研究科以外の授業の一環として集団利用を計画する場合は、必ず理工学部事務室に相談してください。